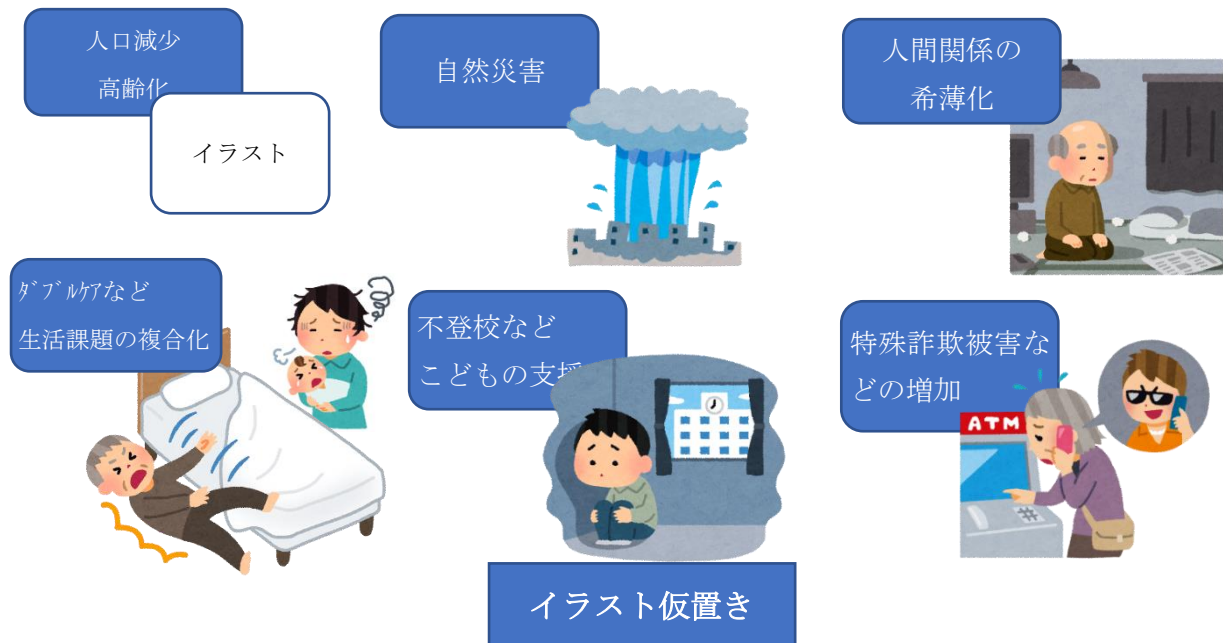


I 次期東区ビジョンについて.....	1
II 東区のいま	
1 東区の人口.....	3
2 東区の特性や魅力.....	4
III よりよいまち・東区の実現へ向けた実践と行動	
1 区民とともにめざす東区の将来像.....	5
2 将来像を実現するための基盤となる考え方.....	6
3 実現のための3つの柱(キーワード)と9つの取組分野.....	6
ともに「まもる」安全・安心(防災 防犯 健康 福祉).....	7
ともに「そだてる」教育(子育て 教育).....	9
ともに「たかめる」文化(歴史・文化、水・緑、コミュニティ・協創).....	10
4 地域での実践(校区インタビュー).....	11
IV 資料編.....	13

I. 堺市東区〇〇〇ビジョンについて

1. ビジョンとは？

私たちが暮らす地域社会は現在、急速な人口減少・高齢化、自然災害のリスク、人間関係（つながり）の希薄化など、さまざまな課題に直面しています。



これらの課題は、行政（区役所）だけで解決できるものではありません。地域に暮らし、働き、学ばれている皆さんと区役所や警察、消防、学校などさまざまな関係機関とが心を一つにし、地域の課題解決や魅力向上のためにともに実践・行動していくことが重要です。

「堺市東区〇〇〇ビジョン」（以下「本ビジョン」といいます）は、東区のめざす将来像をみんなで共有し、“思いを一つにして”取り組んでいくための共通の指針として位置づけるものです。

2. 新たなビジョンをつくる

東区では、令和3年度から7年度を対象期間とする「堺市東区みんなで育むわがまちビジョン」を策定し、めざす将来像「人・世代がつながる 住み続けたいまち」の実現に向け、地域の皆さんと協力・連携しながら、地域の課題解決や魅力向上に取り組んできました。特に令和3年度からは、特色のある区行政の実現のため、地域で活動されている皆さんを中心に東区について話し合う「堺市東区政策会議」を開催し、東区の歴史・文化の発掘・発信～次世代の継承について、地域の皆さんと行政との協働によりさまざまな実践を積み重ねてきました。

このたび「堺市東区みんなで育むわがまちビジョン」の期間満了にあたって、こうした取組をさらに進めるために、地域の皆さんと行政が思いを共有し、より強固な信頼関係を築くための土台となる新たなビジョンを策定することとしました。

策定にあたっては、堺市東区政策会議においてこれまでの取組のふりかえりや議論を重ね、また広く区民の皆さんの考えや思いを把握するための「東区区民アンケート調査」を実施しました。これらの議論やご意見をもとに、本ビジョンをまとめました。

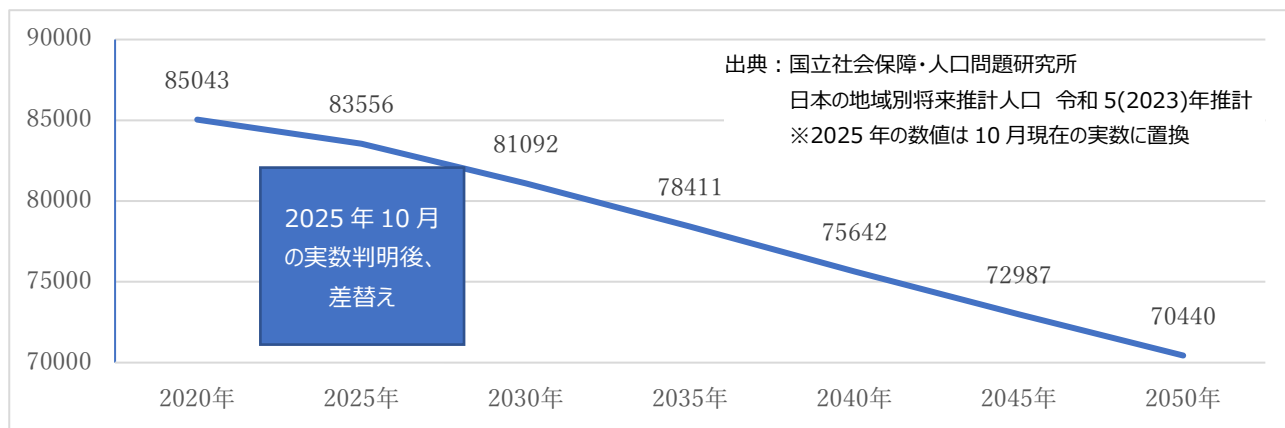
◇新たなビジョンをつくるにあたっての考え方

- ・10年先を見据え、令和8年度から12年度までを対象期間とします。
- ・区民の皆さんの考えや思いに基づき、重点的に取り組むべき分野を定めます。
- ・シンプルな構成とし、バックデータや関連資料などは東区ホームページを活用して掲載することで、伝わりやすい・わかりやすいビジョンをめざします。
- ・本ビジョンに記載のないことについては、本庁部局が定める各分野の全市的・専門的な行政計画に基づきながら、区役所として本庁部局と区民との橋渡しを担います。

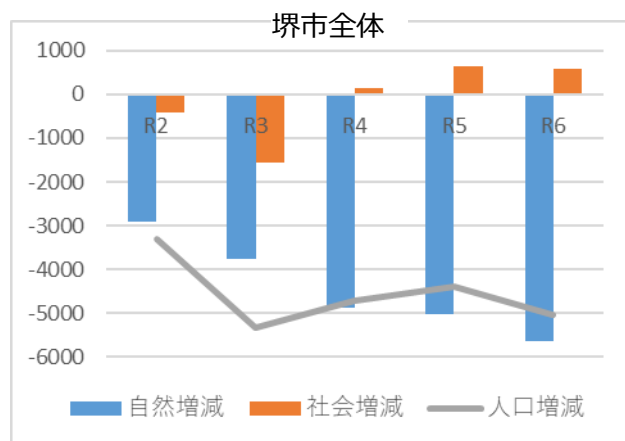
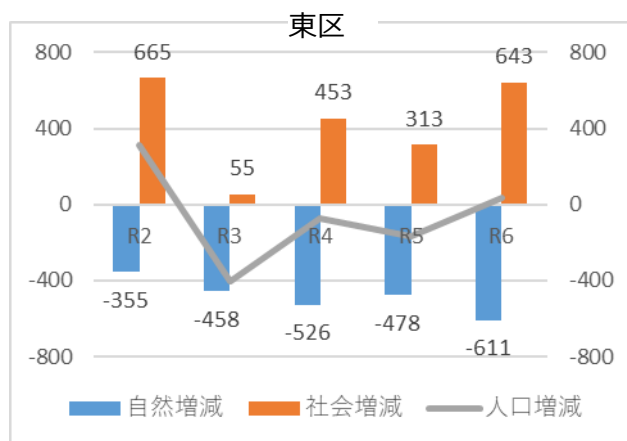
Ⅱ. 東区のいま

1 東区の人口

区の人口は、約 8 万 4 千人。全国的な傾向と同じく、今後は減少すると推計されています。

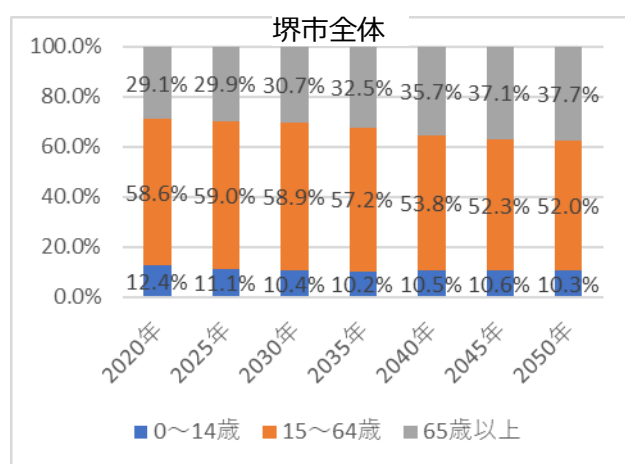
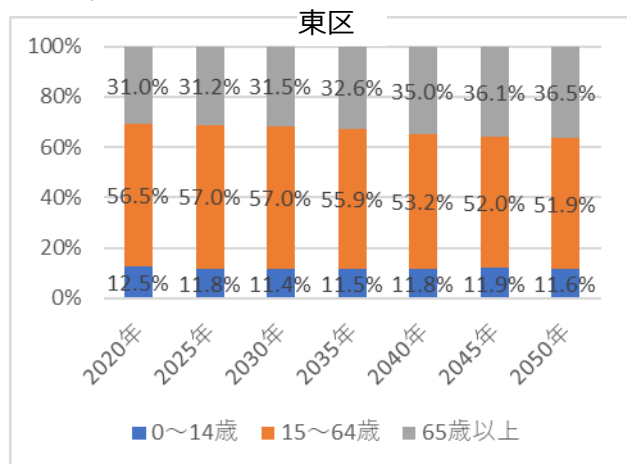


直近 5 年の人口増減の内訳を見ると、社会増が続いており、「住む」まちとして選ばれています。堺市全体と比較しても自然減に対する社会増の比率は東区の方が顕著に高くなっています。他方、自然減が続いており、単年度では人口が増加した年もありますが、直近 5 年では人口減少となっています。



出典：堺市ホームページ「人口動態」住民基本台帳による数値

人口割合の推計を見ると、区のこどもの人口割合はほぼ横ばいと推測されている一方、高齢者の人口割合は増加します。堺市全体との比較では、高齢者の人口割合は 2040 年を境目に東区の方が低くなります。また、こどもの割合は東区の方が高い状態が続くと推計されています。



出典：国立社会保障・人口問題研究所 日本の地域別将来推計人口 令和 5(2023)年推計

2 東区の特性や魅力

- 「住民同士のつながり」や「住民と行政の協働」により、地域の課題解決に取り組む気風が定着（活発な地域活動）
- 日常生活の利便性の高さ（交通や買い物が便利）
- 治安の良さ（犯罪・火災・交通事故の人口あたり発生率が大阪府平均以下）
- 災害への不安の少なさ（特に津波災害の可能性が低い）
- 住み心地の良さ（落ち着いた街並み、人のつながりや温かさ、水・緑の豊かさなど）
- 西高野街道、寺社、地車、民話など有形無形の数多くの地域資源（先人から承継した歴史文化）

上記項目に関連するような図表（複数）

3 充実・強化が求められる取組

住みよい魅力のあるまちに向けて重要と思うもの

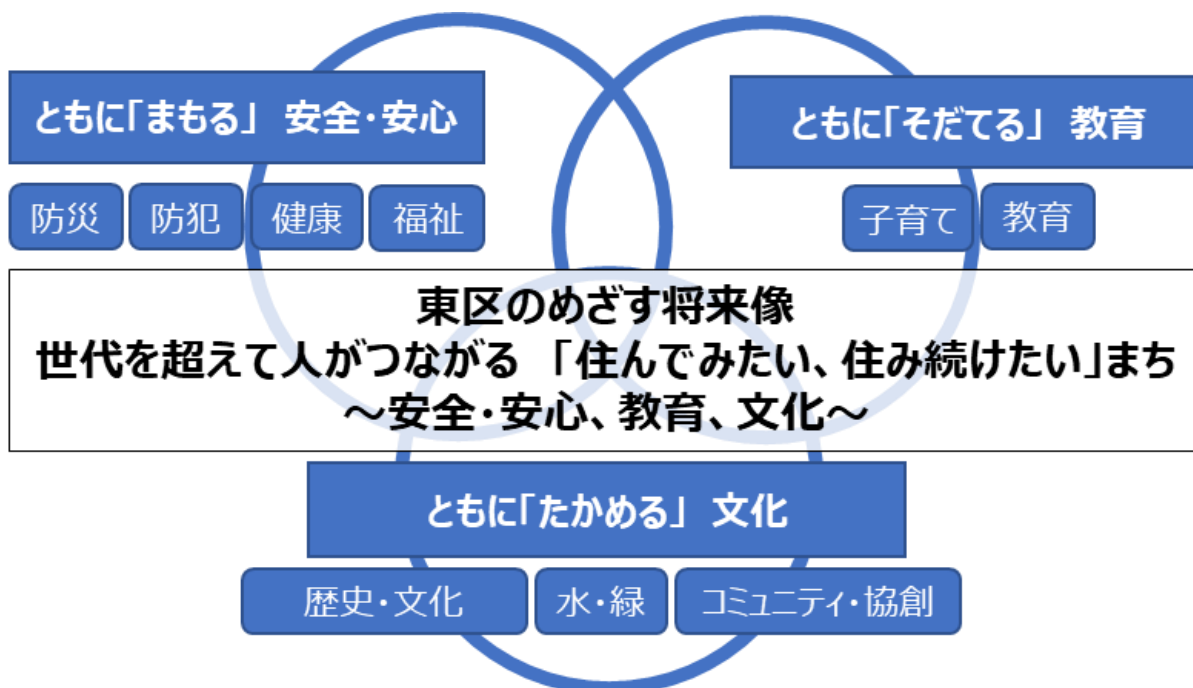
項目	割合（％）
安全・安心であること（防災・防犯）	82.3
全てのひとが生き生きと暮らし、心身ともに健康であること（保健、福祉）	47.0
安心して子育てができ、子どもたちが健やかに育つこと（子育て、教育）	40.6
水・緑と暮らしが調和すること（環境共生、環境保全、低炭素社会）	28.8
人や世代がつながり、次世代が育つこと（参加・交流、次世代育成）	23.3
多様な主体が連携・協力し、地域活動が活発であること（パートナーシップ、地域活動）	14.5
身近に歴史や文化、芸術とふれあえること（歴史・文化、芸術）	13.3

堺市東区区民アンケート調査（令和6年10月実施）

とりわけ、暮らしの基盤である「防災・防犯」「保健・福祉」「子育て・教育」の充実が重要

Ⅲ. よりよいまち・東区の実現に向けた実践と行動

本章の全体像（イメージ）をお示します。



1 区民とともにめざす東区の将来像

世代を超えて人がつながる「住んでみたい、住み続けたい」まち ～安全・安心、教育・文化～

先人が築いてきた豊かな歴史や伝統文化、水・緑などの自然環境、活発な地域活動など、特色ある文化が根づく東区で、世代を超えて人と人につながり、互いに助け合いながら未来を担うこどもたちを育み、暮らしの安全・安心を区民が実感できる住み心地のよいまちをめざします。そして、さらに魅力を高めたまちを次世代へ継承し、区民からは「住み続けたい」、区域外の方からも「住んでみたい」と思われる持続的なまちをめざします。

「まち」昭和初期から現在に至るまで幅広い年代に開発・整備された多様な住宅地や再開発事業により文化・商業施設が林立する都市区画、古くからの町並みや農地、ため池などが複合し一体となった空間において、ひとびとが暮らし、働き、学ぶなど様々な活動を実践する、東区域の特色ある生活圏をいいます。

「教育」こどもたちが安心して学び、健やかに成長するため、地域全体で見守り、教え、育てる取組全般をいいます。

「文化」暮らしの中で世代を超えて築きあげ、守り、受け継がれてきた歴史的資源や農空間、生活様式、価値観といった有形無形のものの総称をいいます。

2 将来像を実現するための基盤となる考え方

「つながり」を力として推進する

東区の各地域では、区民が力を合わせ、様々な主体と連携しながら防犯や防災、福祉、子育て支援、環境美化、交流活動など多岐にわたり、暮らしを支える活動が実践されています。

こどもから高齢者まで世代を問わず参加し、活動を通じて人と人とのつながりが生まれ、そのつながりが安心を生み出し、さらに、自分たちが暮らすまちをよりよくなる活動を推進しています。

地域の中での区民同士のつながりや、区民、行政、団体など様々な主体同士のつながりを推進力として、将来像の実現をめざします。

3 実現のための3つの柱（キーワード）と9つの取組分野

東区の将来像を実現するための「3つの柱（キーワード）」と「9つの取組分野」を次のとおり掲げます。それぞれのキーワード、取組分野は互いに連携し、相乗効果を生み出しながら、将来像の実現をめざします。

柱（キーワード）	取組分野
ともに「まもる」安全・安心	防災 防犯 健康 福祉
ともに「そだてる」教育	子育て 教育
ともに「たかめる」文化	歴史・文化 水・緑 コミュニティ・協創

また次のページから、9つの取組分野ごとに、どのように取組を進めるのか方向性を示すとともに、具体的な取組をイメージしやすいよう、地域や行政で実践している取組の一例を紹介します。これらの取組は区民が主体となり、また区民が深く関わっているものです。

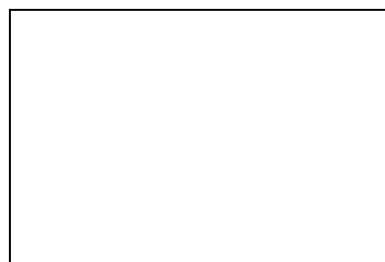
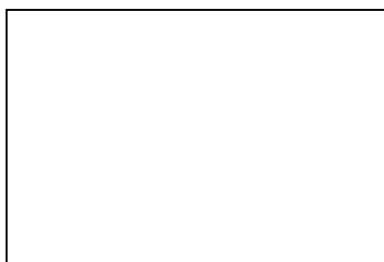
こうした取組の積み重ねと継続を通じて、将来像を実現するために3つの柱についてそれぞれどのような状態をめざすのかについて、「めざすゴール」を設定します。

※協創…異なる価値観や個性を持つ主体同士が、課題解決や新たな価値の創造に向け力を合わせるしくみ

ともに「まもる」 安全・安心 【取組分野】 防災 防犯 健康 福祉

安全・安心は区民の暮らしの大前提となるものです。区民が心身ともに健やかに安心して暮らすことができるよう、生活の場となる「まちの安全」と区民の「暮らしの安全」を両輪でまもることが重要です。また区民が安心を実感するためには、区民が自ら地域のつながりや活動に参画し体験することが重要です。自助・共助・公助それぞれの強化やさらなる連携により、災害や犯罪、事故などからまちやひとを守る取組や、健康・福祉の取組の充実を図ります。

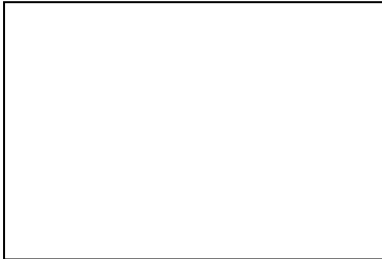
- 防災
 - ・地域コミュニティを活かした「自助」「共助」の更なる強化
 - ・関係機関との連携強化等による「公助」の機能強化
 - ・「自助」「共助」「公助」の連携強化



- 防犯
 - ・「犯罪を起こさせない」風土の醸成
 - ・区民の防犯意識の向上



- 健康
- ・身近な地域における健康増進の取組の実践
 - ・区民が健康について学ぶ機会の充実



健康増進を目的とした自主活動グループが、さまざまな取組を実践



- 福祉
- ・社会参加の機会の充実
 - ・お困りごとを抱えた方、家庭に早期に気づく地域のまなざしの醸成
 - ・活動主体間の連携強化



めざすゴール

「まちの安全」と「暮らしの安全」に向けてみんなが役割を持ち、助けあいや支えあいの輪が広がることで、安心を実感できる。

ともに「そだてる」教育 【取組分野】子育て 教育

未来を創る子どもたちは、地域の宝・希望であり、無限の可能性を秘めています。子どもたちが健やかに成長し、それぞれの夢に向かって進んでいくことができるよう、家庭、学校、地域が連携し、みんなで見守り、助け合い、育ち合う環境を醸成し、子どもたちが自分で考え、行動する力を育むことが重要です。

子どもたちは周囲の大人たちや様々な年齢のこどもと交流し、多様な体験・チャレンジを重ねることで、将来への希望を育み、自分たちのまちをよりよくするために行動できる人へと成長し、また周囲の大人たちは、子どもたちとの関わりを通じ、やりがいや希望をもって社会で活躍できます。こうした教育を通じたつながりの好循環が広がり、将来にわたって受け継がれるような環境をはぐくみます。

- 子育て
 - ・区民、団体、行政など多様な活動主体による子育て支援の推進
 - ・活動主体間の連携強化

--	--	--

- 教育
 - ・多世代交流の推進
 - ・こどもが主体的に活動できる機会の創出
 - ・学校、地域、行政、関係機関等の連携強化

--	--	--

めざすゴール

子どもたちの成長をみんなであたかく見守り、支える風土が醸成されている。こどもと大人が信頼のもとでともに育ち合う環境を築いている。

ともに「たかめる」文化 【取組分野】歴史・文化 水・緑 コミュニティ・協創

東区の各地域には、先人が築いてきた豊かな歴史や伝統文化、水・緑、活発な地域活動など、特色ある暮らしの文化が根づいています。様々な文化の要素が織りなす「落ち着いた街並み」は東区らしさであり区民共有の財産です。

文化は暮らしに潤いをもたらすだけでなく、人と人をつなぎ、まちへの愛着や誇りを高め、わがまちを大切に守り、よりよくしようという意識を醸成します。東区に根づく文化の価値を高める取組の充実を図ります。

- 歴史・文化
 - ・魅力資源のネットワーク化
 - ・身近に文化芸術を体験できる機会の充実



区内の魅力資源を掲載しウォーキングに活用できる「東区わくわく散策マップ」



文化芸術を通して区民の親睦や連帯を深める「ひがしふれあい文化祭」



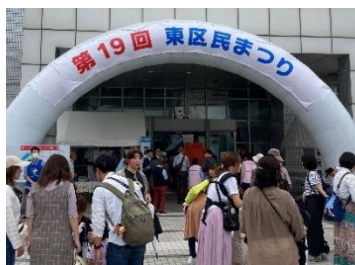
- 水・緑
 - ・水、緑を活かした交流機会の創出
 - ・地域ぐるみのまちの美化推進



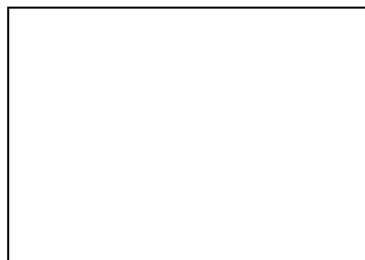
大津池（ため池）を地域交流の場として活用する取組



- コミュニティ・協創
 - ・自治会をはじめとする区民主体の活動の推進
 - ・区民、団体、行政の協力による交流の機会の創出
 - ・区民と市政をつなぐ区役所のコーディネート機能の強化



区民・団体・行政が協働で実施する地域最大の交流イベント「東区民まつり」



めざすゴール

地域に根づく文化を区民が大切にし、新たな魅力や価値を創造する活動が地域で展開されている。